

社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 C館



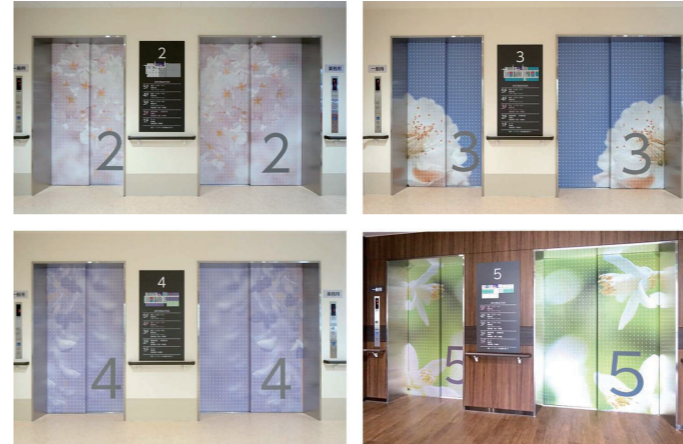
外観

「長門記念病院」は大分県南部の中核となる総合病院。2016(平成28)年に急性期医療を担うA館の建替えを実施。新たに完成したC館は回復期病棟、緩和ケア病棟などを配置。地域医療・福祉への貢献を目指している。



1F エレベーターホール

木目調とした明るいエレベーターホール。病院ということをお忘れさせるようなシックな空間、緩和ケア病棟の夜間入口を兼ね、優しく来館者を迎える。屋内駐車場と繋がっており、雨天でも濡れずに移動が可能としている。



病棟階  
エレベーターホール

フロア別に異なるグラフィックを使用。A館に採用し、フロアがわかりやすく好評だったため、C館も同様に採用。2Fは佐伯市の市花でもある山桜、3F豊後梅、4Fはふじ、5Fは大分県にちなむカボスの花をモチーフとしている。



病棟階  
スタッフステーション

エレベーターホールで用いられたグラフィックを、各フロアのシンボルとして使用。今どのフロアにいるか、患者さんやスタッフがすぐにわかるよう工夫している。



2F 機能訓練室

木のぬくもりを感じ、さらに転倒時のけがのリスクも軽減できるよう、機能訓練室の床は天然木フローリングの二重床を採用。大きな窓から採光をとることで、気分を明るくしてリハビリに取り組みやすく工夫している。



2F ADLコーナー

機能訓練室の一部には、退院後の日常生活を想定したADL(日常生活動作)コーナーを設置。段差や扉の開閉、布団の上げ下げなど、異なる仕様を設置し、日常生活に必要な動作訓練を可能としている。



2F トイレ入口

男女トイレの間にバリアフリートイレを設置。プライバシー配慮として、男女トイレの入口は、一歩奥まったところに配置し、廊下から見えにくくしている。



2F 女性トイレ  
大便器コーナー

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。大便器は、床の清掃性がよく、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置している。



2F 男性トイレ  
洗面コーナー

洗面カウンターは、ボウルに継ぎ目がなく清掃性に優れた車いす対応洗面(共用向け)を採用し、さまざまな利用者のアプローチ性や安全性に配慮。衛生性や節水効果も図れる自動水栓を設置している。



2F 男性トイレ  
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを採用。緊急時に対応できる呼出ボタンも設置されている。



2F バリアフリートイレ

機能訓練室横にあるトイレのため、訓練としても使えるように採用例の多いL型とはね上げの手すりを選定。洗面器は実物で検証した結果、小柄の車いす使用者でも吐水口に手が届き手洗いしやすい病院用洗面器としている。



2F 男性更衣室トイレ

スタッフ用更衣室に、用足しから手洗いまでを個室内で行える個室完結型の大便秘器ブースと小便器ブースを用意。それぞれのブースに器具を分け混雑を緩和。女性更衣室内にも同様にトイレを2ヶ所設置している。



社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 C館



3F病棟階 廊下洗面コーナー

病棟の廊下には、車いす対応の洗面コーナーを分散配置。手が不自由でサポートが必要な方や、小柄の方でも使いやすいように、シャワータイプ水栓を採用。4床室内の洗面コーナーが混雑している場合も使用できる。



3F病棟階 男性トイレ小便器コーナー

ユニバーサルデザイン配慮として、1ヶ所に手すりを設置。また、小便器前に幅2,000mm程度の空間を設け、歩行器を使用しても十分に通行できるように配慮。さらに、緊急時用に呼出ボタンも設置している。



3F病棟階 男性トイレ大便器コーナー

BCP対応として、停電時でもトイレが使用できるよう、停電時洗浄レバー付きの壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。手すりを左右勝手違いで設置し、身体状況にあわせて選択できるようにしている。



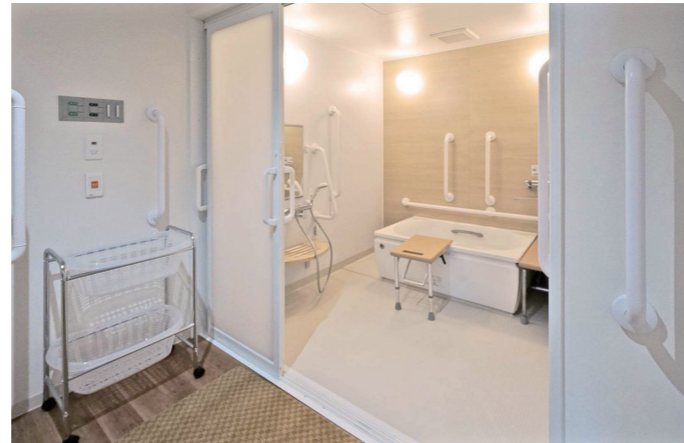
3F病棟階 バリアフリートイレ

機能分散を図るため、各階のバリアフリートイレには、オストメイトに配慮したコンパクトオストメイトバックを設置。さらに、排せつしやすい前傾姿勢を支える前方ボード(はね上げタイプ)も採用している。



3F病棟階 シャワー室

既存病棟のシャワー利用者から、ユニットのシャワー室が狭いという意見を考慮し、3枚引戸で室内空間の大きいユニットバスルームを採用。出入口にI型手すりを備え、洗い場への移動や扉開閉時の安全性を高めている。



3F病棟階 浴室

浴室には、自立歩行者も介助が必要な方も使いやすい介護ユニットバスを採用。シャワー室と同様に、脱衣室にI型手すりを設置。着替え後立ち上がり用の手すりには、滑りにくいソフトメッシュタイプを選択している。



3F病棟階 プレイルーム洗面コーナー

プレイルームの洗面コーナーは、菌みがきの動作訓練などでも使用されるため、さまざまな利用者のアプローチ性に配慮した車いす対応洗面を採用。水栓は非接触で使用できる自動水栓を設置している。



3~4F 屋外階段

3~4Fをつなぐ屋外階段を院内のリハビリルートとして利用。階段を上ると4F屋上庭園につながっている。また、安全に開放感と眺望が楽しめるよう階段には縦格子のフェンスを採用している。



4F 屋上庭園

患者さんが積極的に外に出ることを促す、「動」の場としての4F屋上庭園。運動機能を高めるさまざまな歩行感を再現し、休憩用にベンチも整備。園芸療法として、植栽スペースには、四季折々の花やハーブが植えられる。



5F 屋上庭園

5F屋外庭園は「静」の場。美しい山並みと里山の原風景を望み、季節の移ろいの中、寛ぎと安らぎが感じられる草木を配置。ベッドや車いすのまま、雨天時でも外に出られるよう、幅広く深い庇や広い開口を設けている。



5F緩和ケア病棟 デイルーム

デイルームには、システムキッチン「THE CRASSO」を採用。コーヒーを淹れて屋上庭園でくつろいだり、イベントでの料理や患者さんの家族が調理する場として多目的に活用。キッチンは車いすでも使用可能な仕様。



5F緩和ケア病棟 ヒーリング室

周囲を防音壁とし、静かに寛ぐ時間や音楽鑑賞、家族とのイベントなどで利用可能なヒーリング室。明るい色味の内装で統一し、天井のライティングにもこだわっている。声を出して泣きたいときにも利用可能としている。



社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 C館



5F緩和ケア病棟 特別室

心地よい療養空間を目指し、木調素材や間接照明で演出された特別個室。病院の気配を消すように、医療コンソールを隠している。見舞い客用のソファベッドも用意され、窓からは美しい山並みを眺めることができる。



5F緩和ケア病棟 特別室

洗面コーナーは、車いすでもアプローチしやすい洗面を採用。トイレは、省スペースと介助のしやすさの両立を目指し、TOTOテクニカルセンターのラボスペースで動作検証を実施。二方向引戸を採用し最適化を行った。



5F緩和ケア病棟 個浴

患者や付き添い者が家庭的な設えでリラックスできるように、システムバスルーム「サザナ」を採用。ベンチタイプのカウンターでシャワーを浴びて、座ったまま水平移動が可能。浴槽フチは握りやすい形状となっている。



5F緩和ケア病棟 個室

できるだけ自力でトイレに行きたいという患者の希望に沿えるように環境を整備。姿勢を安定させるアームレストと前方ボードを設置。ベッド側の扉を開放してベッドを接近させるなど、患者の意向にあわせた対応が可能。



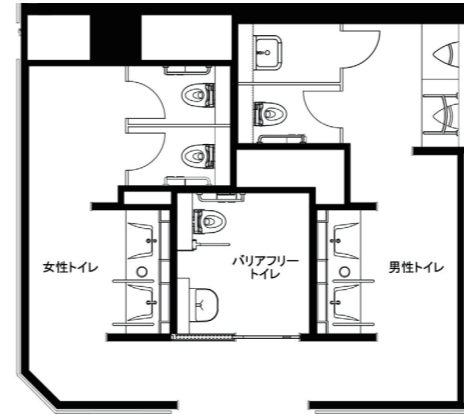
トイレサイン

ひと目でわかるように突き出しサインを採用。カラーユニバーサルデザインが採用され、視覚的にもわかりやすいように、扉の取手を患者さんの使用スペースは「木目」、スタッフ用のスペースは「白」と色分けをしている。



スタッフステーション

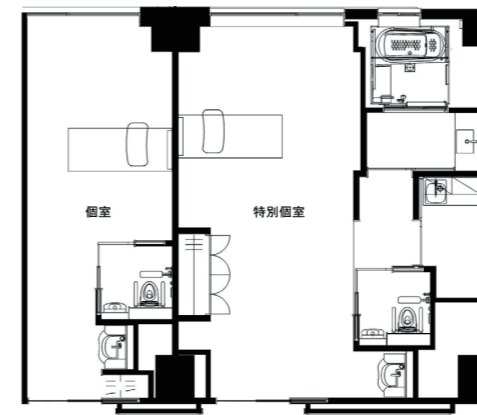
スタッフステーションには、ポウルが大きく楽な姿勢で手洗いできるスタッフ用手洗器を採用し、非接触で使用できる発電タイプの自動水栓を設置。さらに、汚物流しにも、センサースイッチを採用している。



2Fトイレ図面



3Fトイレ図面



5F個室・特別室図面

水まわりの特長

建物の特徴

「長門記念病院」は、2016(平成28)年に急性期医療を担うA館の建替えを実施。2024(令和6)年に、機能訓練室、回復期リハビリテーション病棟とともに、大分県南部で初の緩和ケア病棟を内包する「C館」を完成。緩和ケア病棟は、「静」をテーマにした屋上庭園に面するデイルームにオープンキッチンを備え、各病棟や病室は落ち着いた内装によりComfortな療養環境を整備。またリハビリテーションエリアの「動」をテーマとした屋上庭園や開放感ある屋外階段、木のぬくもりを感じる明るい機能訓練室など、患者が前向きに、明るく取り組めるWellnessな環境とし、患者やスタッフがいきいきとし、癒しを感じる施設を目指している。

水まわりの特長

さまざまな身体状況の方に対応、それぞれが選択して使用できるようバリアフリートイレには、手すりの種類やオストメイトの有無など、さまざまなバリエーションが用意され、患者さん自身で選択できるように工夫。またスタッフステーションなどの水まわりにおいては、衛生面に配慮して非接触で使用できる水栓を採用。さらに、BCP対応にもこだわり、有事の時も使用が可能な器具を設置している。4床室の洗面が混雑している時や歯みがきの練習にも使用できる共用の洗面コーナーを分散配置。個室トイレでは、TOTOテクニカルセンター福岡のバリアフリーラボで、省スペースと介助のしやすさを検証。そのほかの商品も使用感を実際に確認し、患者が使用する環境にあわせて最適な機器を選定している。

建築概要

名称	社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 C館
所在地	大分県佐伯市鶴岡町1-11-59
施主	社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院
設計	株式会社 大林組 一級建築士事務所
施工	株式会社 大林組
竣工年月	2024年3月
敷地面積	17,603㎡
建築面積	2,352㎡
延床面積	9,447㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上5階

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
- ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AU
- 柵付二連紙巻器:YH600FMR自動洗浄小便器:UFS900系
- ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
- ハイドロセラ・フロアPUS:AB655
- 車いす対応洗面(共用向け):MLHC
- 車いす対応洗面(居室向け):MVHG
- 台付自動水栓:TLE26SS系、TEK34UPASB
- 水栓金具:TL389EF
- コンパクトオストメイトバック:UAS81L系
- L型手すり:T112CL9
- 前方ボード(はね上げタイプ):EWC720R
- 病院用洗面器:MR104系
- スタッフ用手洗器:LS850R
- パブリック用流し:SKL330系
- 介護ユニットバス:XAV2020系
- 病院・高齢者施設向けユニット ESシリーズ:ESV1216系
- システムキッチン ザ・クラウン:KPT系
- システムバスルーム サザナ:HTV系